

日乃出清掃工場整備工事に伴う可燃ごみの処理の実績について

日乃出清掃工場整備工事に伴う休炉期間中の可燃ごみについては、市民・事業者の皆様のご協力などにより、想定を超えるごみの減量化が図られたことや各種対策が概ね予定どおり実施できたこと、さらには、改修工事が順調に進み焼却開始日が前倒しできたことなどから、期間中排出された全量を適切に処理したところである。

1 休炉期間

(予定) 令和6年10月5日(土)から令和6年10月18日(金)までの14日間

(実績) 令和6年10月5日(土)から令和6年10月17日(木)までの13日間

[工期短縮による休炉期間の短縮]

2 休炉期間中のごみ排出量(予定休炉期間14日間分)

単位：トン

R5 排出量(A)	R6 想定排出量(B)	R6 実績排出量(C)	増	減
			(C)-(B)	(C)-(A)
3,036	2,920	2,745	△ 175	△ 291

3 休炉期間中の対策および対策量

①ごみピットへの一時保管	1,439トン
②草木類の処分先変更	200トン
③渡島廃棄物処理広域連合(クリーンおしま)への処理依頼	657トン
④札幌市への処理依頼	206トン
⑤非腐敗性ごみの再資源化	42トン
⑥改修工事工期短縮による焼却処理	201トン
対 策 量 合 計	2,745トン

4 今後の対応

令和7年度以降の休炉期間等においても、適切に可燃ごみを処理するため、更なるごみの減量化や再資源化の周知活動を行うとともに、各種対策の充実や新たな対策の検討を進める。

なお、対策を実施しても処理できない場合に備え、専門家の意見を踏まえて策定した「七五郎沢廃棄物最終処分場埋立方針」に基づいた対応を準備するとともに、更なる周辺環境等へ配慮した対策の検討を進める。